

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 久保 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 宇野 隆俊 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	284,258	△15.1	526	△92.2	450	△93.1	△2,556	—
2020年3月期第3四半期	334,633	1.3	6,789	△23.6	6,500	△31.0	3,034	△39.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,351百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 1,465百万円 (△69.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△24.00	—
2020年3月期第3四半期	28.50	28.39

(参考) のれん等償却前営業利益 2021年3月期第3四半期 7,686百万円 (△45.3%) 2020年3月期第3四半期 14,049百万円 (△9.4%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	358,607	53,452	14.2	479.04
2020年3月期	373,640	57,326	14.7	515.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 51,037百万円 2020年3月期 54,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	13.00	13.00
2021年3月期	—	—	—		
2021年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	△12.0	1,800	△78.7	1,500	△78.7	△2,600	—	△24.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社、除外 1社 （社名）三菱キャタピラーフォークリフトヨーロッパ社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式及びA種種類株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	106,550,013株	2020年3月期	106,536,013株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,216株	2020年3月期	7,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	106,535,758株	2020年3月期3Q	106,494,911株

（注）期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
3. その他	10
参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍により半ば停止状態であった経済活動が徐々にではあるものの復調傾向となる中での推移となりました。グローバルでは、いち早く経済活動を平時に戻した中国を始め、欧米でのロックダウン解除、アジア圏での規制緩和により、ヒト・モノ・カネが動き始める状況となりました。特に9月頃からは欧米を中心にフォークリフト需要の伸張には力強いものがあり、地域・月によっては前年同期の水準までの回復が見られるようになりました。一方、日本においては、コロナ禍の影響が欧米に比べ軽微であったこともあり、6月の活動自粛の緩和以降、業種別ではまだ模様ではあるものの引き続き各種経済活動の復調が実感されていますが、フォークリフト需要の回復には今一步の状況が続いています。

このような状況の中、大きな不安定要素であった米国大統領選挙や英国Brexitが一定の決着を見たこともあり今後一層の経済活動の復調が期待されましたが、新型コロナウイルスの変異種の発生や感染再拡大が顕著となったことで各国ともその対応に追われることとなり、経済復興策の一時停止や再度のロックダウン実施が現実となる中、この先も予断を許さない状況が続くものと思われまます。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、2,842億5千8百万円（前年同期比15.1%減少）となりました。第2四半期連結会計期間に比して当第3四半期連結会計期間では、経済環境の良化により受注状況は好転したものの、前期に比して十分な売上への寄与までには至っておりません。利益面につきましては、売上の減少を受け固定費の削減に取り組んでいるものの、営業利益は5億2千6百万円（前年同期比92.2%減少）、経常利益は4億5千万円（前年同期比93.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は△25億5千6百万円（前年同期30億3千4百万円の利益）となりました。

なお、のれん償却等の影響を除くと、営業利益は76億8千6百万円（前年同期比45.3%減少）となり、営業利益率は2.7%（前年同期比1.5ポイント減少）となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、6月以降の日本市場の堅調さを背景に第2四半期連結会計期間以降のセグメント利益は黒字となっており、それまで厳しい状況であった輸出向け受注及び売上の回復基調も寄与して、売上高は1,231億8千5百万円（前年同期比6.9%減少）となりました。全グループ挙げて固定費の削減に取り組んでいるものの、売上高減少による利益減を補うには至らず、セグメント損失は△1億1千7百万円（前年同期15億5千3百万円の利益）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は36億5千6百万円（前年同期比28.2%減少）となっております。

〔海外事業〕

海外事業は、国内事業と同様、第2四半期連結会計期間以降、コロナ禍の影響が落ち着いた中国市場やロックダウンが解除となった欧米アジアでの伸長によりセグメント利益は黒字となっておりますが、前期並までの回復には未だ時間を要する状況であり、昨年7月に買収した米国販売会社Equipment Depot, Inc.の新規連結寄与があったものの、売上高は1,610億7千2百万円（前年同期比20.4%減少）となりました。売上高減少による利益減少を固定費の削減で補いきれない状況も国内事業と同様であり、セグメント利益は6億4千4百万円（前年同期比87.7%減少）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は40億2千9百万円（前年同期比55.0%減少）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,586億7百万円となり、前連結会計年度末より150億3千2百万円減少しました。流動資産は、売上債権の減少等により52億7千1百万円減少し、固定資産は、償却によるのれんの減少等により97億6千万円減少しました。負債合計は3,051億5千5百万円となり、前連結会計年度末より111億5千8百万円減少しました。主な要因は、仕入債務の減少等によるものであります。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと510億3千7百万円となり、前連結会計年度末より38億4千万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間までの実績を踏まえて、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,335	23,267
受取手形及び売掛金	73,537	61,448
電子記録債権	1,782	1,625
商品及び製品	38,025	38,206
仕掛品	8,124	8,297
原材料及び貯蔵品	15,808	12,999
その他	42,109	43,501
貸倒引当金	△1,161	△1,058
流動資産合計	193,560	188,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,489	20,109
機械装置及び運搬具(純額)	46,830	43,259
土地	22,938	21,626
その他(純額)	11,164	11,791
有形固定資産合計	101,423	96,787
無形固定資産		
のれん	41,510	36,316
その他	21,709	19,401
無形固定資産合計	63,219	55,717
投資その他の資産		
投資有価証券	5,848	7,125
その他	9,659	10,763
貸倒引当金	△71	△75
投資その他の資産合計	15,435	17,813
固定資産合計	180,079	170,318
資産合計	373,640	358,607

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,974	35,306
電子記録債務	23,976	20,837
短期借入金	44,396	48,612
未払法人税等	2,235	756
賞与引当金	4,473	2,230
役員賞与引当金	92	49
製品保証引当金	4,494	4,073
関係会社整理損失引当金	75	75
その他	31,726	33,955
流動負債合計	154,445	145,896
固定負債		
長期借入金	131,463	130,829
製品保証引当金	789	378
役員退職慰労引当金	7	11
退職給付に係る負債	16,103	15,840
その他	13,504	12,197
固定負債合計	161,868	159,258
負債合計	316,314	305,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,904	4,906
資本剰余金	35,785	35,788
利益剰余金	14,796	10,786
自己株式	△2	△2
株主資本合計	55,483	51,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,575	2,375
為替換算調整勘定	△1,170	△2,481
退職給付に係る調整累計額	△1,010	△335
その他の包括利益累計額合計	△605	△440
新株予約権	219	263
非支配株主持分	2,227	2,150
純資産合計	57,326	53,452
負債純資産合計	373,640	358,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	334,633	284,258
売上原価	255,078	217,039
売上総利益	79,554	67,218
販売費及び一般管理費	72,765	66,691
営業利益	6,789	526
営業外収益		
受取利息	633	466
受取配当金	202	66
補助金収入	—	805
その他	463	240
営業外収益合計	1,299	1,578
営業外費用		
支払利息	1,275	1,064
持分法による投資損失	143	96
為替差損	64	367
その他	102	124
営業外費用合計	1,587	1,653
経常利益	6,500	450
特別利益		
固定資産売却益	171	78
投資有価証券売却益	837	0
受取保険金	—	72
関係会社株式売却益	871	—
事業譲渡益	66	—
特別利益合計	1,947	151
特別損失		
固定資産処分損	102	159
減損損失	533	228
災害による損失	—	48
関係会社整理損	—	59
事業構造改善費用	—	1,706
退職給付制度終了損	—	559
投資有価証券売却損	11	—
特別損失合計	647	2,762
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,800	△2,159
法人税、住民税及び事業税	3,308	2,202
法人税等調整額	1,191	△1,890
法人税等合計	4,500	311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,300	△2,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	265	84
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,034	△2,556

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,300	△2,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	798
為替換算調整勘定	△1,491	△1,399
退職給付に係る調整額	136	711
持分法適用会社に対する持分相当額	3	9
その他の包括利益合計	△1,834	120
四半期包括利益	1,465	△2,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,165	△2,390
非支配株主に係る四半期包括利益	300	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度末においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により足元の業績に一時的な売上高減少等の影響が生じていたことから、この状況が当連結会計年度の第2四半期までは継続するものの第3四半期以降は回復するものと仮定しておりました。

現時点では、新型コロナウイルス感染症による影響が2021年3月期を通じて継続し、当連結会計年度内では収束には至らないと判断しております。しかしながら、確実に復調の兆しは見え始めており、この状況は翌期以降も継続するとの仮定のもと会計上の重要な見積り（のれんの減損の認識の判定）を行っております。

なお、この仮定の変更に伴う当第3四半期連結財務諸表への影響はありませんが、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,367	202,266	334,633	—	334,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,807	1,866	30,673	(30,673)	—
計	161,174	204,132	365,307	(30,673)	334,633
セグメント利益又は損失(△)	1,553	5,235	6,789	—	6,789

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたEquipment Depot, Inc. は、決算日が12月31日であるため、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間において、2019年7月1日から2019年12月31日までの6か月間を連結しており、連結損益計算書を通して調整しております。

これにより、「海外事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間の売上高は141億1千9百万円、セグメント利益は1億7千6百万円、それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては533百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	123,185	161,072	284,258	—	284,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,087	1,034	20,121	(20,121)	—
計	142,273	162,106	304,379	(20,121)	284,258
セグメント利益又は損失(△)	△117	644	526	—	526

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては228百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な該当事項はありません。

3. その他

2021年3月期 第3四半期決算 参考資料<連結>

1. 決算ハイライト

(単位: 億円)

	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	1,050.4	1,020.4	1,275.4	1,142.8	4,489.1	905.3	949.2	987.9		2,842.5
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	45.4 4.3%	48.2 4.7%	46.7 3.7%	42.8 3.7%	183.3 4.1%	10.3 1.1%	33.0 3.5%	33.4 3.4%		76.8 2.7%
のれん等償却	△ 21.9	△ 20.8	△ 29.8	△ 26.3	△ 98.9	△ 21.9	△ 26.1	△ 23.5		△ 71.6
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	23.5 2.2%	27.4 2.7%	16.9 1.3%	16.4 1.4%	84.3 1.9%	△ 11.5 △1.3%	6.9 0.7%	9.8 1.0%		5.2 0.2%
経常利益 (経常利益率)	23.8 2.3%	24.1 2.4%	17.0 1.3%	5.4 0.5%	70.4 1.6%	△ 13.7 △1.5%	6.6 0.7%	11.5 1.2%		4.5 0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	6.0 0.6%	14.9 1.5%	9.3 0.7%	△ 82.7 △7.2%	△ 52.4 △1.2%	△ 15.7 △1.7%	△ 3.8 △0.4%	△ 5.9 △0.6%		△ 25.5 △0.9%

為替レート

(単位: 円)

USD	109.90	108.63	108.67	108.74		107.62	106.92	106.12	
EUR	123.49	121.42	121.05	120.82		118.48	121.30	122.37	

2. セグメント情報

(単位: 億円)

	2019年度					2020年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	
売上高	国内事業	422.5	466.9	434.1	466.7	1,790.4	383.8	423.5	424.4		1,231.8
	海外事業	627.9	553.4	841.2	676.0	2,698.7	521.4	525.6	563.5		1,610.7
営業利益	国内事業	12.9	24.1	13.8	33.5	84.4	4.4	16.7	15.3		36.5
	海外事業	32.6	24.2	32.8	9.2	98.8	5.9	16.2	18.0		40.2

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位: 億円)

地域	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	422.5	466.9	434.1	466.7	1,790.4	383.8	423.5	424.4		1,231.8
米州	333.3	302.8	567.5	425.1	1,628.9	323.4	325.5	330.2		979.3
欧州	209.5	172.8	191.3	186.0	759.7	147.3	150.1	177.8		475.3
アジア・中国	84.9	77.8	82.3	64.8	310.0	50.6	49.9	55.4		156.0
計	1,050.4	1,020.4	1,275.4	1,142.8	4,489.1	905.3	949.2	987.9		2,842.5

3. フォークリフト販売台数

(単位: 千台)

	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	7	7	7	7	29	7	6	7		20
海外	20	18	19	18	74	14	12	15		41
合計	28	25	26	25	103	20	19	22		61